

# 人権アラカルト

すべての人が、幸せになる権利を持っています。

人権について、身近なこと、小さなことから、始めませんか？

## 人権意識のアップデート

私は、この3月に小学校の教員を退職し、4月に下関市の人権啓発指導員として着任しました。現在は先輩の指導員のもと、人権について研修し、講座の資料作成や説明方法について日々修行を重ねています。1日も早く、一人前の指導員になれるよう頑張りたいと思います。

さて、下関市では、男女共同参画に関することや子ども、障害者の問題など、「山口県人権推進指針」に上げられた16の課題について人権学習を進めているところですが、内容も多岐にわたり、人権はとても奥が深いと感じています。

皆さんは子どもの頃に教わったことが、変わってきていることをご存知ですか？

一つ目は、「はだいろ」という色のことです。私が子どもの頃は色鉛筆やクレヨンには「はだいろ」という色がありましたが、今は、「はだいろ」とは言わず、「うすだいたい」や「パールオレンジ」という言い方をします。すでに20年も前から色鉛筆やクレヨンに「はだいろ」という色はないと知り、私はとても驚きました。先輩の指導員いわく、今は、24人に1人の割合で子どものどちらかの親が、または、両方の親が、外国人だということです。したがって、生まれてくる子ども達の肌の色は千差万別、以前、私がイメージしていた1色とは限らないのです。最近では、スキンカラー(肌の色)の色鉛筆セット(12色)も販売されているようです。

二つ目は、江戸時代に「士農工商」というピラミッド型の身分制度ではなかったということです。歴史の研究が進み、今の解釈では、「武士」と「百姓・町人」の身分で分けられていたと、小・中学校の教科書が改訂されています。

このように社会は変化し、研究も進み、人権についての考え方も変化しています。いつのまにか思い込みや偏見が刻み込まれてしまわないよう、私たちも知識や意識をしっかりとアップデートしていかないとはいけません。私は自分の経験を入れながら、人権について正確に分かりやすく、市民の皆様にお伝えしていくことが使命だと考えています。そして、その活動が市民一人ひとりの人権が尊重される「まちづくり」の一助になればと思います。



はじめまして